

MBA に興味を持たれている諸氏へ

2015 年 7 月 5 日

皆さんこんにちは！

自分の価値を高めたいと思っている方に薦めます。

米国では MBA 取得者は年間 9 万人、日本では年間 3500 人であると、今年 1 月 10 日に開催された「MBA チャレンジ」サポートの公演で聞いた。アメリカでは MBA を取得することが企業でのシニアマネージャー職を得る条件になっていると思われる。アメリカを追従する日本でも、将来同じ状況になると思われる。

本コースは講師の大住先生の紹介では、30 歳代の中堅の方に MBA の本質を理解頂く場を提供する事と記載されていました。59 歳の私が参加したのは、中堅の方と共に学び意見を聴くことが目的でした。第一回の修了者は、30 歳代 4 名と 50 歳代 3 名の 7 名でした。また全員が全く異なる職場職種でした。今回の参加者の顔ぶれがどのようになるか楽しみです。

講義の進め方は、事前に配布されるアーキテクチャーに記載されたスケジュールで実施されます。事前にテキストを読んでおく事が必要です。大住先生の説明が始まると質問・意見が飛び出します。テキストに沿った講義はいつも時間が足りませんでした。月 1 回のメイン講義と補講があり、月 2 回の参加が可能でした。

私の印象に残っている事を 4 点あげます。

1. 自然科学と社会科学とは、科学の意味において同じである。
(理論に基づいて実証確認をし、本質を確認する。)
2. 組織運営においては、Integrity が重要である。
3. 人口と経済指数との関係
4. 受講生が講義を通じて発見する問題と目標設定（月 1 回の受講生のレポート）

受講する事で、MBA 関連の情報にアクセスする方法を学びました。

MBA に関するイベントが開催されている事をしり、ミニ MBA 塾卒業後も MBA 関連のイベントに積極的に参加しています。

第 4 回ミニ MBA 塾に参加される皆様と会える時を楽しみにしています。

以上

私の履歴

1971 年 私立滝川高等学校卒

1975 年 神戸大学工学部計測工学科卒

1977 年 神戸大学工学部計測工学科修士卒

1977 年 横河ヒューレット・パカード入社 （営業関連部門）

2013 年 日本ヒューレット・パカード退社 （36 年間営業関連部門にて勤務）

2014 年 株式会社購買 Design 入社